令和５年度 事業報告

学校法人 加計学園
御影インターナショナルこども園
MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be Global !」をコンセプトに、１歳児～５歳児の乳幼児を対象とした保育教育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム（神戸市小規模保育事業）

御影インターナショナルこども園は、開園から１０年目を迎える認可外保育施設です。園では、未来を背負う子どもたちのために日常生活をネイティブの外国人教師と一緒に過ごし身近に英語を感じながら幅広い視野を育んで参りました。

単に英語のレッスンをするというだけでなく、異文化体験プログラムを通じて世界を知り、広い感覚を持ち、世界中の人々とのつながることによって「平和」についても心を寄せることができました。

令和５年度より新しい試みとして、一人ひとりの発達を大切にするモンテッソーリ教育を５歳児クラスに導入し、教具を少しずつ揃えながらモンテッソーリ教育環境を整えてきました。子どもたちの自らやってみたい、挑戦したいという気持ちを尊重し、自分の興味を持ったことに自由に挑戦した結果、子どもたちにも達成感を感じてもらえたようです。

一方、御影小規模保育ルームは神戸市の認可保育施設として開園９年目になりましたが、令和５年度末をもって事業廃止し、学校法人茅渟の浦学園がその事業を継承することになりました。引き続き同じ環境で保育を提供できますので、保護者の皆様には子どもたちを安心して預けていただけるように準備をし、事業の引継ぎを行いました。

さて、今年度の重点的な取り組みと結果は次の通りです。

① 安心、安全かつ衛生的な保育環境の整備

２階保育室の床を全面、フローリング化工事を実施し、衛生的な環境を整備しました。

② 教員研修の充実

モンテッソーリ教育導入にあたり、近隣のモンッテソーリ園の見学を実施した。また AED 使用の講習会や感染症拡大防止のための消毒に関する講習等を保育士全員で受講しました。

③ 事務処理の簡素化

業務管理ソフトのコドモンの機能を最大限活用し、保育料請求書のペーパーレス化を実現しました。

④ 園児募集活動の強化

園庭開放や園見学を定期的に実施すると同時に、従来のＨＰやパンフレットだけではなく駅貼りポスター、チラシの配布、Ｗｅｂ広告、インスタグラムなど多様な媒体を利用して募集活動を実施しました。

御影インターナショナルこども園　園長　澤井　育子

Ⅰ．教育・研究の推進について

１．保育教育環境の整備、危機管理に関する目標

質の高い保育を行う認可外保育施設として、認可施設と遜色のない安全・安心かつ衛生的な保育教育環境を提供する。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【1】夏の暑さ対策に関する計画 夏季の酷暑の中でも、プール遊びなど園庭での遊びを安全に楽しく実施できる環境に改善するため、2022 年度に、園庭に遮光ネットを設置する。	実施済	実施済	A
【2】アレルギー対策に関する計画 衛生環境を改善するため、アレルギーの要因にもなる各教室・ホール床のタイルカーペットを、フローリングと床暖房設備に改修し、併せて給食委託業者と協議して、アレルギー対応の食事の改善と、保育士への指導を実施する。	①タイルカーペットのフローリング工事について今年度は２階の保育室から実施し、1 階は次年度に実施する。	①タイルカーペットのフローリング化工事は予定通り２階保育室部分で実施した。	A
	②アレルギー対応の食事改善については、給食委託業者から改善計画案を提出してもらう。	②令和６年度から給食業者の変更を予定していたため未実施	D
	③保育士への指導は給食業者の栄養管理士を招いてアレルギー食の研修を実施する。	③令和６年度から給食業者の変更を予定していたため未実施	D

Ⅱ．園児の支援について

１．ＭＩＫ教育プログラムの充実に関する中期目標

世界ではＳＴＥAM教育が評価されており、現在の７つの領域に「アート」や「サイエンス」に繋がるカリキュラムをオプションとして加え、こどもの可能性を広げる保育教育を行うこども園を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【3】外部講師を招聘した教室の点検、評価に関する計画 絵画造形、体育あそび、リトミック、ピアニカ、論語の各教室の自己点検・評価を行い、その結果に基づき開講教室、内容を再編する。	○外部講師の意見も聞いて、各教室の自己点検・評価を継続して行う。	○年度末に保護者アンケートを実施し、満足度などを確認した。次年度は講師、保育士からの評価も加えてプログラムの再編を進める。	C
	○MIK 教育プログラムの７つの領域（ことば・日本文化・道徳・運動・数の感覚・音楽・ものづくり）を充実するために、新たにモンテッソーリ教育環境を整えて中身を充実させていく。	○令和６年度からイマージョン教育を強化するため、新しい教材の準備を行った。またモンテッソーリ教育の教具を少しずつ買い揃え、主に５歳児用の教育環境を整えた。	B
	①楽器遊び、リトミックは、クラス担任が日常の保育プログラムの中で指導する。	①実施済 リトミックについては令和６年度から乳児クラスに専門性のある保育士を配置して実施する。	A

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
	②外部講師を招聘して、新たにダンス教室を開講する。	②10 月から外部講師を招いて２歳～５歳児を対象にダンス教室を月２回開催している。	A
【4】楽しい PC・プログラミングのお稽古開設に関する計画 岡山理科大学ブランドを活かした楽しいＰＣ・プログラミングのお稽古の 2025 年度開設を目指す。保護者のニーズ調査等により、時代と保護者のニーズを見極め、対象年齢、指導者、環境整備、プログラミング能力の到達度の設定など、具体的な構想案を策定する。	○園児管理ソフトのコドモンのオプション機能であるアンケート機能を利用し保護者ニーズを調査する。	○コドモンのアンケート機能を利用し、外部講師によるプログラムについての意見を聞き、満足度を確認した。令和６年度は岡山理科大学と協力して幼児向けのイベントを企画する予定である。	C
【4-2】モンテッソーリ教育の導入に関する計画 こどもの可能性を広げる保育教育として、新たにモンテッソーリ教育を 2024 年度から正式に導入する。子どもにはモンテッソーリ環境を用意し、多様性のある子ども社会の準備を行う。	○モンテッソーリ教育環境の保育室を整備し、国際モンテッソーリ教員資格ＡＭＩ(ASSOCIATION MON-TESSORI INTERNATIONALE)のディプロマ資格保持者を教員として配置する。	○５歳児を対象として導入したモンテッソーリ教育については有資格の教員を１名配置した。	A
	○2023 年度は昼寝の時間を活用し、昼寝をしない５歳児から試行的に実施する。	○５歳児の昼寝は廃止し、モンテッソーリ環境を整備した部屋で活動をした。	A
	○2023 年度については、横割りクラスのほかに、時間帯により縦割り(異年齢)クラスを作り、異年齢交流を開始する。	○縦割りクラスの時間帯を設け、異年齢交流を実施した。	A

２．質向上によるブランド力強化に関する中期目標

入園先の選択において重要となる保育士の教育力・保育力を積極的な研修制度により向上させるとともに、英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園のブランド力向上を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【5】保育士研修の充実に関する計画 ①園内研修、外部研修への参加義務を課す。 ②保育士、幼稚園教諭のW取得を推奨する。 ③自己研鑽への支援制度の創設を５年以内に整備する。	①　どのような研修が有用かを改めて考え、また、外部にはどのような研修があるかを調査し、今後の研修計画を立案する。有用な研修があれば、参加義務を課して速やかに参加し、能力向上を図る。	①モンテッソーリ教育導入にあたり、参考になる他園を見学した。またコドモンの機能でオンライン受講できる研修があるため 2024 年度から積極的に受講することにした。	B

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
	②　資格未取得の職員に対して積極的に資格取得を促す。	②２名（内１名は外国人）が子育て支援員の資格を新たに取得した。また外国人職員１名が保育士資格に挑戦した。	A
	③モンテッソーリ教育導入のため資格保持者より園内研修を行う。	③モンテッソーリ教育の指導方法や環境整備について保育士が有資格者とともに保育に関わることで理解を深めた。	B
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○今年度中に園児管理ソフトのコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。	○コドモンのアンケート機能を利用してイマージョンプログラムについての満足度を調査した。次年度のプログラムを充実させるため、意見を反映させる予定である。	C
【7】外国人教員の活性化に関する計画 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○外国人教員の能力向上、意欲向上のため、各研修への積極的な参加等を通し、今後に向けての目標案を作成する。	○１名が子育て支援員の研修を受講し、資格を取得した。１名は保育士資格に挑戦したが、あと一歩合格点に達せず、次年度再挑戦することになった。令和６年度にも引き続き積極的な研修参加を促進する。	C
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士(日本人)とのコラボ案を策定する。	○イマージョンプログラムの達成目標を再設定し、年度末には達成度を評価する。	○明確な達成目標は設定できなかったが、2024 年度からイマージョンプログラム強化のため新規に２名の経験豊富な外国人採用を決定し、次年度からの達成目標を再設定した。	C
	○午前中に２～３ブロック（１ブロック３０～４５分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。	○日本人保育士は英語で話す時間帯を確保することが難しく、次年度の課題となった。	C

Ⅲ．国際化の推進について

１．質向上によるブランド力強化に関する中期目標《再掲》

➔ 英語イマージョンプログラムのブラシュアップに関する中期目標

英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園選択の際の差別化要素まで引き上げる。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画《再掲》 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○今年度中に園児管理ソフトのコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。**《再掲》**	○コドモンのアンケート機能を利用してイマージョンプログラムについての満足度を調査した。次年度のプログラムを充実させるため、意見を反映させる予定である。	C
【7】外国人教員の活性化に関する計画《再掲》 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○外国人教員の能力向上、意欲向上のため、各研修への積極的な参加等を通し、今後に向けての目標案を作成する。	○１名が子育て支援員の研修を受講し、資格を取得した。１名は保育士資格に挑戦したが、あと一歩合格点に達せず、次年度再挑戦することになった。令和６年度にも引き続き積極的な研修参加を促進する	C
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画《再掲》 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士(日本人)とのコラボ案を策定する。	○イマージョンプログラムの達成目標を再設定し年度末には達成度を評価する。 ○午前中に２～３ブロック（１ブロック３０～４５分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。**《再掲》**	○明確な達成目標は設定できなかったが、2024 年度からイマージョンプログラム強化のため新規に２名の経験豊富な外国人採用を決定し、次年度からの達成目標を再設定した。 ○日本人保育士は英語で話す時間帯を確保することが難しく、次年度の課題となった。	C

Ⅳ．ＤＸの推進について

１．業務の効率化に関する中期目標

業務の効率化を図ることで事務処理の省力化を図り、事務職員が働き易い環境を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【9】ＷＥＢ請求への切り替えに関する計画 2023 年度から保育料等の各種支払い請求をＷＥＢ化する。紙による請求を原則禁止し、封入作業等の労力、時間削減を図る。	○ＷＥＢ請求への切り替えについては園児管理ソフトのコドモンのオプション機能を活用して請求書を発行し、保育料請求業務を簡素化していく。	○コドモンの請求管理機能を活用し、請求書のペーパーレス化を実現した。さらに 2024 年度より口座振替の機能も活用し、請求業務をさらに簡素化する。	B

Ⅴ．ガバナンス体制と内部質保証システムについて

１．御影インターナショナルこども園の新展開の方向性に関する中期目標

園の設置形態を変えることで公的助成を受けられる組織に改変し、安定した財政基盤の確立を目指す。

達成が困難と判断した場合は、存在感があり、募集力の安定した認可外こども園を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【10】神戸市、有識者等への意見聴取に関する計画 2022 年度中に、財政基盤の確立の観点からメリット・デメリットを洗い出す。	実施済	実施済	A
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	○小規模保育ルーム事業の継続の可否を検討し、方針を決定する。継続不可の場合は閉鎖時期を決定し、関係者へ募集停止の通知を行う。	○神戸市と協議の結果、令和５年度末で小規模保育ルーム事業は廃止し、連携園である学校法人茅渟の浦学園が事業を継承することとなった。	A
【11】新展開実現へのプロセス決定に関する計画 2024 年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○こども園の新たな方向性を定め、実現可能な計画を策定し、計画実行の優先順位を決定する。	○こども園の特色をさらに明確にするため 2024 年度よりイマージョン教育の強化と全園児を対象にモンテッソーリ教育の拡充していくことを決定し、準備を開始した。	A
【12】学童保育の再開など新規事業のニーズ調査に関する計画 ①関係機関、関係者へのヒアリングを実施する。 ②2024 年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○旧棟の有効利用について引き続き新規事業のニーズ調査を行う。 一棟全貸や一教室単位での利用方法等検討をしていく。 また空き教室利用等で全国展開をしている企業などから情報収集し、具体案を提案する。	○旧棟の利用については 2024 年度より１階、２階を学校法人茅渟の浦学園が使用することになった。	A

２．質保証に関する中期目標

将来、スタッフが変わっても、園の運営と保育力を担保し、質保証できる組織を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【13】基本データの整理に関する目標 ①2024 年度を目標に、散逸しかねない各種データを集約、整理し、１０年史[データ編]を製作する。 ②溜まる一方の文書の管理(保管/電子化、廃棄)を行う。	○保存年限を過ぎた文書を処分し、サーバー内の電子データについても整理する。	○保存年限を過ぎた文書を整理し、文書溶解サービスを利用して処分した。サーバー内の電子データは小規模保育ルームの事業廃止後に整理を行う。	B

３．安定した財政基盤の構築に関する中期目標

少子化の中においても、安定した運営ができる組織を目指す。

中期計画	令和５年度　事業計画	令和５年度　事業報告	評価
【14】収支改善に関する計画 ①段階的に定員確保を達成する。 ②収支バランスの適正化を図るため、保育料収入の増加策と人件費抑制策を実行する。	①定員確保に向け、2023 年度～2025 年度の３年計画を精査する。	①募集活動を強化しながら現実的に確保が可能な園児数を段階的に増やしていく。	C
	②こども園における保育料、諸費用の適正値を検討し、次年度から対応できるよう準備する。	②令和６年度からイマージョン教育強化やモンテッソーリ教育の拡充、更新時期がきている施設の整備のため、保育料や給食費を改定し、新たに施設設備費を徴収することを決定した。	A
	③時間外勤務の削減、派遣保育士の委託抑制等、可能な経費抑制策を実行する。	③振替休日の積極的な取得で時間外勤務は大幅に減少し、派遣保育士に依存せずパート職員を活用することで人件費削減を実現した。	B
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画《再掲》 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	○小規模保育ルーム事業の継続の可否を検討し、方針を決定する。継続不可の場合は閉鎖時期を決定し、関係者へ募集停止の通知を行う。 **《再掲》**	○神戸市と協議の結果、令和５年度末で小規模保育ルーム事業は廃止し、連携園である学校法人茅渟の浦学園が事業を継承することとなった。	A
【15】園児募集活動の強化に関する計画 ①インターネットを活用した広報活動の展開 ②ホームページのリニューアル ③広報刊行物の見直し	○園児募集活動の強化のため、学園広報室との連携を図り、折り込み広告や駅の看板広告により地域で広く認知されることを目指す。 ○ホームページの部分的にリニューアルし、園の様子をアピールできるよう定期的に更新する。 ○パンフレットの内容を見直す。	○学園広報室と連携し、園の特色を強調できるチラシ、ポスターを作成し、駅貼り、ポスティングなどを実施した。 ○ホームページでは園庭開放や園見学会予定を発信、インスタグラムとも連動した内容に更新した。 ○デジタルパンフレットの更新については教育プログラムの変更に伴い、次年度に実施することとした。	B

※評価欄は各事業の達成度及び成果を自己評価したもの。

Ｓ：目標以上の成果（105%～）　Ａ：目標を達成（100～104%）　Ｂ：目標をほぼ達成（90～99%）

Ｃ：課題が残る（70～89%）　Ｄ：未達・未実施（～69%）

主な行事予定

主な行事予定	
４月	入園の会 進級式 クラス懇談会
５月	春の遠足 保護者会
６月	保育参観・個別懇談
７月	入園説明会 お泊り保育
８月	入園説明会
９月	入園申込・選考 個別懇談[英語担当]
10 月	運動会(こども園) 運動会(小規模) ハロウィンパーティー
11 月	消防訓練 七五三詣り 秋の遠足 保育参観・個人懇談 異文化体験
12 月	みんなの発表会(こども園　乳児) クリスマス会
１月	初詣 みんなの発表会(小規模) 交通安全教室
２月	みんなの発表会(こども園　幼児) 豆まき
３月	お別れ会・お別れ遠足 卒園式

その他行事　誕生日会など

児童・教職員数

■在籍児童数

御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
１歳児	１２	１０
２歳児	１８	１８
３歳児	３０	１２
４歳児	３０	１７
５歳児	３０	２５
合計	１２０	８２

御影小規模保育ルーム

クラス名	収容定員	在籍児童数
０歳児	１９	5
１歳児		9
２歳児		5
合計	１９	１９

■教職員数

園長	副園長	英語教員	保育士	事務職員	計
1	0	5	１０	2	１８

財務関係

■財務改善に向けた取組

こども園

園児数の定員確保を目指し効果的な宣伝広告について多様な広告媒体を活用して募集活動を実施。また令和６年度からの施設整備のための施設設備費の新規徴収や保育料値上げについて具体的な金額を決定した。

小規模保育ルーム

事業廃止を決定。学校法人茅渟の浦学園が事業を継承することとなった。

令和５年度は多様な媒体で広報活動を開始したが、令和６年度は園児獲得にさらに注力し、主に Web 広告を中心に効果的な広報活動を展開し、段階的に改善策を実施していく予定である。